

令和5(2023)年度 東京大学大学院情報理工学系研究科 修士課程学生募集要項

(令和4(2022)年10月入学・令和5(2023)年4月入学)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応等により、本募集要項の内容を変更する可能性がある。その場合は以下の本研究科の入試情報ウェブページに掲載するので、随時、確認すること。
(入試情報ウェブページ: <https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/entra/index.shtml>)

教育研究上の目的

本研究科は、情報理工学の体系的知識を身につけ科学的手法を追究して情報科学技術に関わる研究や開発を主導することのできる人材を養成し、情報理工学の発展に貢献することを目的とする。

求める学生像

情報理工学に関する基礎力を持ち、国際的な場での活躍に必要な素養を備え、未踏の課題を解決し、未来を切り拓く強い意欲を持つ人。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 東京大学大学院情報理工学系研究科修士課程は、専門分野を学ぶための十分な基礎学力を具備しており、情報科学技術に関わる諸問題の解明を目指し、社会の発展に大きく寄与するという理念を踏まえて、国際的な場で活躍することのできる学生を求める。
2. 入学者選抜においては、以下の点を満たしていることを、書類選考、筆記試験、口述試験を通して総合的に評価する。
 - ・志望分野に関する知識とともに、情報理工学全般にわたって基礎知識を有していること。
 - ・情報理工学に係る学識に基づいて、社会の発展に貢献するポテンシャルを有していること。
 - ・将来グローバルな場でも活動しうる語学能力の基礎を具備していること。

1. 出願資格

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和5(2023)年3月31日までに卒業見込みの者(注1)(注5)
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5(2023)年3月31日までに修了見込みの者(注2)(注5)
- (3) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5(2023)年3月31日までに授与される見込みの者(注2)(注5)
- (4) 文部科学大臣の指定した者又は文部科学大臣が指定した教育施設等を修了した者及び令和5(2023)年3月31日までに修了見込みの者(注3)(注5)
- (5) 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者及び令和5(2023)年3月31日までに授与される見込みの者(注5)

(6)個別の入学資格審査をもって、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、令和5(2023)年3月31日において22歳に達しているもの(注1)(注4)(注5)

(注1)上記(1)、(6)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

(注2)上記(2)、(3)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注3)上記(4)に該当する者とは、次の学校又は教育施設の卒業者(修了者)等を示す。

- ・文部科学大臣の指定する外国学校日本校
- ・文部科学大臣の指定する専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)
- ・旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校

(注4)①上記(6)に該当する者とは、上記(1)から(5)に該当しない者のうち、4年制の大学に相当する教育施設の卒業者(修了者)等で、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者を示す。

②上記(6)の資格により出願しようとする者については、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、本研究科の指定する書類を、夏入試は令和4(2022)年5月18日(水)まで、冬入試は令和4(2022)年11月2日(水)までに本研究科入試担当(下記10.)に提出すること。提出書類等については、事前に問い合わせること。

③入学資格審査で日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。

(注5)令和5(2023)年4月入学のほか、専攻によっては、令和4(2022)年10月入学を認めることがある。

令和4(2022)年10月入学を希望する者は、当該専攻事務室に申し出た上で、入学願書にその旨記入すること。また、その場合は出願資格(上記1.(1)~(6))の「令和5(2023)年3月31日」を「令和4(2022)年9月30日」に読み替えること。

2. 選抜方法

入学者の選抜においては、まず、提出書類による書類選考を行う。

夏入試の書類選考の可否結果は、令和4(2022)年7月19日(火)15時頃、本研究科ウェブサイト(<https://www.i.u-tokyo.ac.jp>)に掲示する。

冬入試の書類選考の可否結果は、令和4(2022)年12月23日(金)15時頃、本研究科ウェブサイトに掲示する。

次いで、書類選考の合格者を対象として、筆記試験を行い、さらに必要に応じて口述試験を行う。これらの結果を総合的に判定し入学者を選抜する。

3. 試験期日及び場所

(1)入学試験は、夏入試と冬入試の年2回行う。

夏入試は、コンピュータ科学、数理情報学、システム情報学、電子情報学、知能機械情報学、創造情報学の各専攻で行う。

冬入試は、電子情報学専攻及び創造情報学専攻で行う。

(2)夏入試の一般教育科目(数学)の筆記試験(次の第4節を参照)は令和4(2022)年8月4日(木)(13:00~16:30において、解答時間合計150分を予定)、一般教育科目(プログラミング)の試験は8月5日(金)(詳細は創造情報学専攻の入試案内書を参照)に行う。専門科目試験及び口

述試験は、令和4(2022)年8月22日(月)から8月29日(月)の間で行う。

- (3) 夏入試の一般教育科目(数学及びプログラミング)の試験は原則試験会場(東京大学本郷キャンパス)で実施する。場所・時間割、及び受験上の注意等の詳細は受験票送付時に通知する。令和5(2023)年度入試においても、令和4(2022)年度入試と同様、新型コロナウイルス感染症にかかる入国制限等を考慮した例外的措置としてオンライン試験を実施する。国外在住者など試験会場での受験が困難な者には、オンライン試験への振り替えを許可する場合がある。希望する場合は、別紙「オンライン筆記試験と会場筆記試験の違いに関する注意」をよく読み、別紙「令和5(2023)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試 筆記試験のオンライン試験への振替申請書」を提出すること。オンライン筆記試験への振り替えの可否は、受験票送付時に通知する。また、オンライン試験の受験が認められた者は、事前に接続リハーサルを実施するので必ず参加すること。参加しない者は受験資格を失う。一般教育科目(数学)の接続リハーサルは令和4(2022)年8月1日(月)に行う。一般教育科目(プログラミング)の接続リハーサルについては、創造情報学専攻の入試案内書を参照すること。その他の試験の実施方法については各専攻の入試案内書を参照すること。
- (4) 冬入試は、令和5(2023)年1月下旬から2月中旬の間に行う。試験は原則試験会場で実施するが、夏入試同様、オンラインで実施する場合がある。時間割等を含めた詳しい実施方法やオンラインへの振り替え方法については、本研究科の入試情報ウェブページ、及び電子情報学専攻、創造情報学専攻の入試案内書を参照すること。
- (5) 上述のすべての試験に関して、試験会場における受験を予定する者について、直前の健康状態に応じて急遽オンライン受験への振り替えを指示する場合がある。会場試験を受ける者用の受験上の注意を参照し、その指示に従うこと。

4. 専攻別筆記・口述試験科目及び募集人員

以下の表は、夏入試の試験科目等を示すものである。

試験科目の詳細については、夏入試・冬入試とも、必ず、各専攻の入試案内書で確認すること。

専攻名	一般教育科目	外国語	専門科目	口述試験	募集人員
コンピュータ科学	数学 情報理工学全般に必要な数学の基礎力を問うための①線形代数、②解析(微分積分、常微分方程式など)、③確率・統計の3分野から出題された3問に解答する。	英語 TOEFLの成績を利用する。 筆記試験は行わない。	コンピュータ科学 (対面またはオンライン筆記試験)	コンピュータ科学 (対面またはオンライン口述試験)	42名
数理情報学			数理情報学 (対面またはオンライン筆記試験)	数理情報学 (対面またはオンライン口述試験)	32名
システム情報学			システム情報学 (対面またはオンライン筆記試験)	システム情報学 (対面またはオンライン口述試験)	40名
電子情報学			電子情報学 (対面またはオンライン筆記試験)	電子情報学 (対面またはオンライン口述試験)	48名
知能機械情報学			知能機械情報学 (対面またはオンライン口述試験)		48名
創造情報学	数学 又は、 プログラミング		創造情報学 (対面またはオンライン筆記試験)	創造情報学 (対面またはオンライン口述試験)	33名 その他、若干名を本研究科他専攻合格者より振り替えて受け入れることもある。

備考

- 1) 数理情報学専攻、システム情報学専攻及び創造情報学専攻については、他専攻の専門科目で受験できる場合もあるので各専攻の入試案内書を参照すること。
- 2) TOEFLの成績提出方法等の詳細は、別紙「令和5(2023)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試TOEFL成績提出要項」を参照すること。

5. 出願手続

(1) 入学願書等はWEB出願システムにて作成すること。また、出願に必要な書類は全てPDF化し、WEB出願システムへアップロードすること。詳細は以下の本研究科の入試情報ウェブページ及びWEB出願システム上の指示に従うこと。WEB出願システムは入試情報ウェブページからアクセスすること。

(入試情報ウェブページ <https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/entra/index.shtml>)

(2) 出願期間

①夏入試

令和4(2022)年6月3日(金)から6月9日(木)17時(日本時間)

②冬入試

令和4(2022)年11月16日(水)から11月22日(火)17時(日本時間)

6. 提出書類等

書 類 等	提 出 者	摘 要
入学願書	全員	<p>WEB出願システムに必要事項を正確に入力し作成すること。</p> <p>WEB 出願システムの指示に従い、顔写真データ(上半身脱帽、正面向き、無背景、出願前3ヶ月以内に単身で撮影した鮮明なもの)をWEB出願システムにアップロードすること。顔写真データの形式は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル種別：jpeg形式 ・サイズ：縦308ピクセル × 横236ピクセル <p>顔写真データは、受験票に使用し、受験時に本人との照合を行うので、画像に加工や修正をしないこと。本人と確認できない場合は失格となる場合があるので注意すること。</p> <p>なお、顔写真データは、学生証作成の際にも使用する。</p>
出身大学の 成績証明書	全員	<p>学部(教養課程を含む)の成績を証明するもので原本の写し(PDF)をWEB出願システムにアップロードすること。入学手続き時に原本(紙媒体)を提出すること。</p> <p>複数ある場合には1つのPDFに結合すること。 日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書には、日本語訳又は英語訳を添付すること。</p> <p>東京大学卒業生：前期課程修了者は前期課程成績証明書もあわせてアップロードすること。 編入生：編入学前の成績証明書もあわせてアップロードすること。 高等専門学校専攻科出身者：学科・専攻科両方の成績証明書をアップロードすること。</p>
出身大学の 卒業証明書	既に大学を卒業している者 (出願時卒業見込みの者は卒業見込証明書を提出すること。)	<p>原本の写し(PDF)をWEB出願システムにアップロードすること。入学手続き時に原本(紙媒体)を提出すること。</p> <p>学位が明記されていること。 複数ある場合には1つのPDFに結合すること。 日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書には、日本語訳又は英語訳を添付すること。</p>

TOEFL成績 (Institutional Score Report)	全員	別紙「令和5(2023)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試TOEFL成績提出要項」を参照すること。 該当者は「令和5(2023)年度入試TOEFLスコア未取得連絡書」に記入のうえPDF化し、WEB出願システムにアップロードすること。
検定料	全員 (日本政府(文部科学省)奨学金留学生を除く。 ただし、該当者は、日本政府(文部科学省)奨学金留学生である証明書をPDF化し、WEB出願システムの検定料支払い証明書の項目にアップロードすること。)	30,000円 【銀行振込】又は【コンビニエンスストアでの払込】、【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での払込】若しくは【クレジットカードでの払込】のいずれかに限る。 なお、いずれの場合においても、振込手数料又は払込手数料は、出願者本人の負担となるので留意すること。 ①銀行振込の場合 WEB出願システムから出力した検定料振込依頼書を用いて、最寄りの金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行不可)から振り込むこと(ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ATM、インターネットは利用しないこと)。 振込方法等の詳細は、WEB出願システムから出力した検定料振込依頼書及び注意書を参照すること。 ②【コンビニエンスストアでの払込】、【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での払込】若しくは【クレジットカードでの払込】の場合 手順や注意事項については、別紙「東京大学大学院情報理工学系研究科 検定料払込方法」を参照すること。
筆記試験のオンライン試験への振替申請書	希望者	別紙「オンライン筆記試験と会場筆記試験の違いに関する注意」をよく読み、別紙「令和5(2023)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試 筆記試験のオンライン試験への振替申請書」をWEB出願システムの指示に従い作成し提出すること。
安全保障輸出管理チェックシート	外国人	WEB出願システムに必要事項を入力し作成すること。
専攻で求める書類	全員	各専攻では、志望カード、研究計画書など上記以外の書類の提出を求めている。詳細は各専攻の入試案内書を参照のこと。 推薦書(業績評価書)以外の提出書類は、PDF化し、WEB出願システムにアップロードすること。推薦書(業績評価書)の提出期限及び提出方法については入試情報ウェブページ(出願方法-5. 推薦書(業績評価書)の提出について)を参照のこと。

(注) 日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書、文書、資料等には、すべて日本語訳又は英語訳を添付すること。

7. 合格者の発表及び入学手続

(1) 夏入試

①書類選考の合格者は、令和4(2022)年7月19日(火)15時頃、本研究科ウェブサイト(<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/>)に掲示する。

②筆記試験及び口述試験の合格者は、令和4(2022)年9月5日(月)15時頃、本研究科ウェブサイトに掲示する。

③合格者の入学許可は、令和4(2022)年9月上旬本人宛に通知する。

ただし、令和5(2023)年4月入学予定の日本国籍以外の合格者の入学許可は、「東京大学安全保障輸出管理」の審査を完了したのち、令和4(2022)年10月下旬(予定)までに本人宛に通知する。

(2) 冬入試

①書類選考の合格者は、令和4(2022)年12月23日(金)15時頃、本研究科ウェブサイトに掲示する。

②筆記試験及び口述試験の合格者は、令和5(2023)年2月17日(金)15時頃、本研究科ウェブサイトに掲示する。

③合格者の入学許可は、令和5(2023)年2月下旬本人宛に通知する。

(3) 入学許可の通知を受けた者は、別途送付される入学手続に関する指示に従い、令和4(2022)年10月入学者は、令和4(2022)年9月15日(木)までに、また、令和5(2023)年4月入学者は、令和5(2023)年3月16日(木)までに必要な手続(入学料の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。期限内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。入学手続に関する指示は、令和4(2022)年10月入学者に対しては令和4(2022)年9月上旬、令和5(2023)年4月入学者に対しては令和5(2023)年2月下旬にメールにて送付する。

(4) 入学時に必要な経費(令和5(2023)年度)

(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)

①入学料 282,000円

②授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)

(注)上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

8. 学生支援制度

本研究科の学生支援制度については以下のウェブページを参照すること。

<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/financial-support/>

9. 注意事項

(1) 本研究科の同一期(夏入試又は冬入試)の入学試験においては、同時に2つ以上の専攻に出願することはできない。

なお、本研究科の夏入試の入学試験に既に合格している者は、入学(合格)を辞退することなく、冬入試に出願することはできない。

また、他大学及び本学他研究科等と重複して入学することはできない。

(2) 提出期限までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。ただし、TOEFL成績については別紙「令和5(2023)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試TOEFL成績提出要項」のとおりとする。また、出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、検定料の

払い戻しはしない。

- (3)「受験票」は、出願者本人にメールで送付する。
- ①夏入試では、令和4(2022)年7月15日(金)までにメールが届かない場合は、必ず本研究科入試担当(下記10.)に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
 - ②冬入試では、令和4(2022)年12月19日(月)までにメールが届かない場合は、必ず本研究科入試担当(下記10.)に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
- (4)障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は出願時に本研究科入試担当(下記10.)に申し出ること。
- (5)外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」による、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- (6)官公庁、企業及び団体等に在職のまま大学院に入学しようとする者は、入学手続の際に、修士課程正規学生として在学することに同意する旨の勤務先の所属長の承諾書(承諾者は上長であれば役職は問わない。)を提出すること。
- (7)事情によっては、出願手続及び試験期日等について、変更することもある。
- (8)出願手続後は、どのような事情があっても、書類の返却はしない。
- (9)入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。
- (10)出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (11)入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (12)入学願書における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。
- (13)災害等により不測の事態が発生した場合、入試に関する情報提供は、本研究科ウェブサイト等で行うので注意すること。
- (14)受験票その他重要な連絡事項については願書に記載されたメールアドレス宛てに送付する。u-tokyo.ac.jpドメインからのメールは確実に受け取れるようにすると共に、メールの受信の有無を即時に確認できる状態にしておくこと。

10. 問合せ・連絡先

出願に関する問い合わせは電話ではなく電子メールでお送りください。

土日祝日及び平日の9時～17時以外の時間帯はお問い合わせへの回答はできません。

出願書類の作成・提出は期限直前ではなく早めに行い、不明点がある場合には出願期限まで余裕をもって問い合わせること。回答には数営業日かかることがあるので、各種期限に余裕をもって問い合わせを行うこと。

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院情報理工学系研究科入試担当

電 話 03-5841-7926 (平日9:00～17:00※土日祝日を除く)

Eメール johoriko.t@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

URL <https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/entra/index.shtml>

令和4(2022)年4月

東京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理支援室ウェブページを参照してください。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html>